

スッポンMPジョイント50・75施工手順

水道配水用ポリエチレン管 (JW-P) 用

⚠️ 注意

- ・ ストップリング内面は素手で触ると危険ですので十分注意をして下さい。
- ・ 標線を記入せずに接合した場合、挿入不足または突き当て施工によるパッキンの締付トルク不足によって漏水につながる恐れがあります。

①パイプ挿入量記入



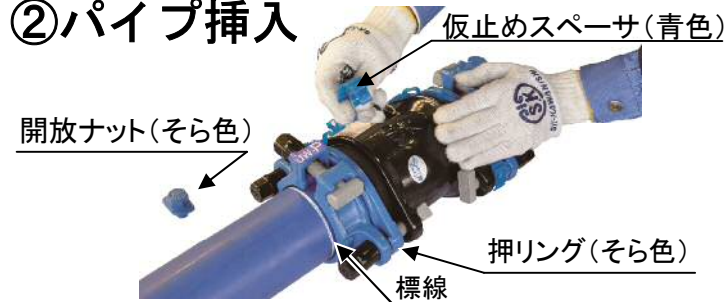
パイプ挿入量 (K 寸) を測り、**標線**を記入して下さい。

〔パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
滑剤の塗布は不要です。〕

継手：MP-P、MP-V、MP-D、MP-A
MP-CAP II

異形管：上記以外

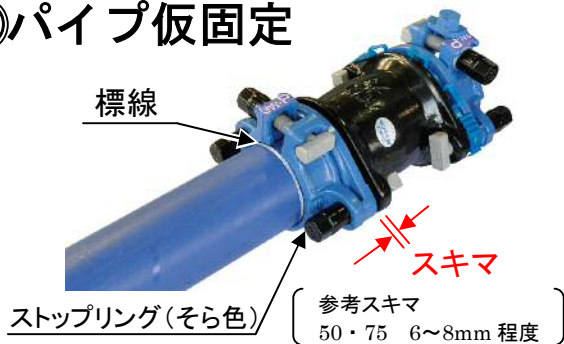
②パイプ挿入



分解せずに継手を標線まで入れ、**仮止めスペーサと開放ナット(ぞら色)を取り外します。**

- ・ 仮止めスペーサが外れにくい場合は押リング締付ナットを少し緩めて下さい。
- ・ 開放ナットの外し方は、開放ナットを「S」の方向(左回り)に回して取り外して下さい。

③パイプ仮固定



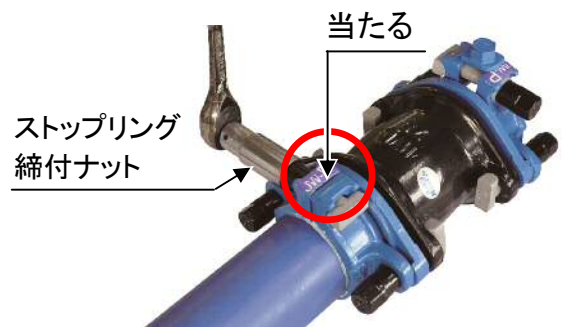
ストップリングを標線と合わせた状態で、パイプが仮固定するまで、**押リング締付ナットを軽く手締め**して下さい。

□K寸の表とボルトサイズ

呼び径	K (mm)		ボルトサイズ 参考締付トルク(N・m)	
	継手	異形管	押リング	ストップリング
50	95 ⁺¹⁰ ₋₀	95 ⁺¹⁰ ₋₀	M16 30(参考)	M16 35(参考)
75	105 ⁺¹⁰ ₋₀	105 ⁺²⁵ ₋₀	M16 35(参考)	M16 35(参考)

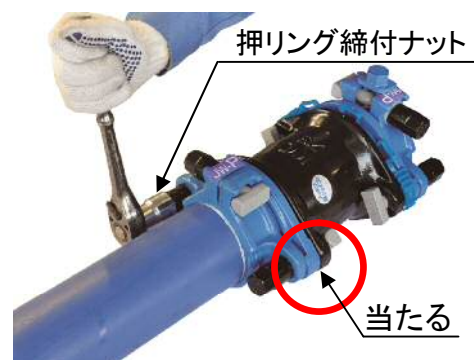
低温時は締付トルクが高くなります。

④ストップリング本締め



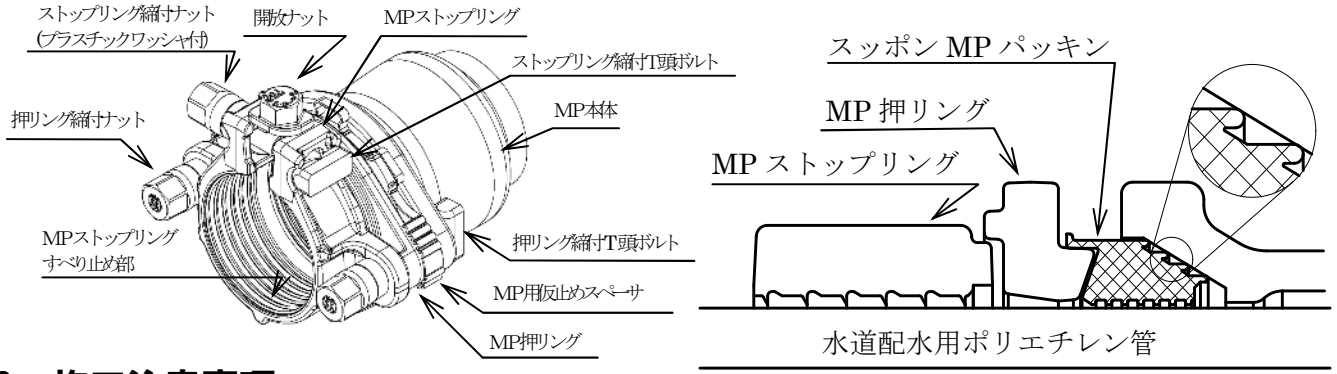
ストップリング先端が当たるまでストップリング締付ナットを**本締め**して下さい。

⑤押リング本締め



押リング締付ナットを**押リングが本体に当たるまで**数回にわたり**均等に本締め**して下さい。

1. スポーンMP ジョイントの各部名称



2. 施工注意事項

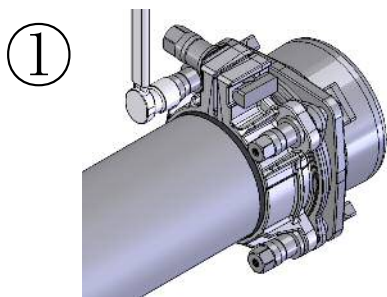
- 1) **押リングを先に締め付けると押リング締付部にトルクがかかり過ぎるため、ストップリングが完全に締まらなくなります。その場合は押リング締付ナットを緩めて、ストップリングを本締めして下さい。**
- 2) インパクトレンチにて施工される場合は対角の押リング締付ナットを交互に均等になるように締め付けて下さい。
- 3) 伏せ越しなどの場合、ストップリングを分解しなくてもストップリング締付 T 頭ボルト・ナットの向きを変えるだけで対応できます。

注意) 呼び径 100~200 の場合、ストップリングを締め始める際に SR 用ワッシャーとプラスチックワッシャの段差がきちんとはまっていることを確認してください。

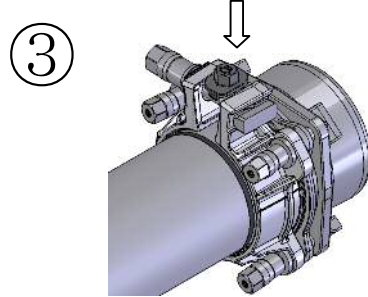
施工後 (パイプと継手の位置関係) (呼び径 50~200)	
○ 良い例	× 悪い例
水密性が良い	水密性が悪い

SR 用ワッシャーとプラスチックワッシャの はめ合い状態 (呼び径 100~200)	
○ 良い例	× 悪い例
段差がきちんとはまっている	プラスチックワッシャが浮き上がっている

3. 開放ナット使用手順



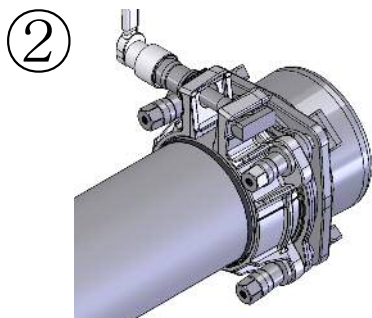
① 押リングを緩めて下さい。



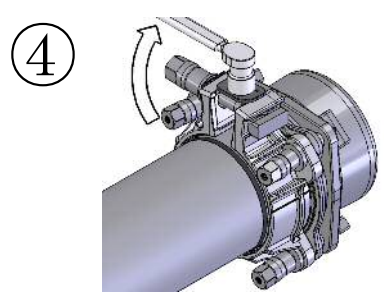
③ ストップリング先端のスキマに開放ナットを挿入して下さい。

開放ナットサイズ

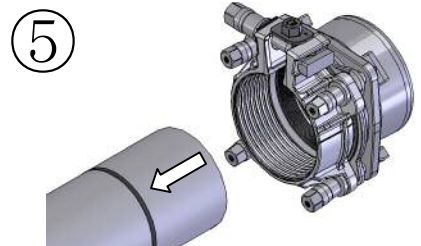
呼び径	ナットサイズ	対辺
50	M16	24
75	M16	24
100	M16	24
150	M20	30
200	M24	36



② ストップリングを分解しない程度まで緩めて下さい。



④ 開放ナットを「O」の方向 (右回り) に 90° 回す。



⑤ ストップリングが開放されますのでパイプを外して下さい。(開放ナットが外れることがあるので注意して下さい。)